



母乳外来のご案内



おっぱいをがんばっている方を退院後も支えます！

母乳は母児にとってメリットがいっぱいです。母乳育児を希望されている方も多いかと思いますが、お産のあと、誰でも簡単に母乳が出るようになるわけではありません。母乳分泌を良くするには、何といても赤ちゃんが欲しがる時に、欲しいだけ吸わせることが大切です。ところが赤ちゃんが乳首になかなか吸いつけなかったり、吸われるとすごく痛かったりなど、困ったことが起こるかもしれません。

そこで、このような授乳の疑問や心配をできる限り解消し、乳房・乳首のトラブルを予防していただけるように、当院では産後退院して卒乳を迎えるまでのお母さんを対象に助産師による乳房ケアの専門外来（母乳外来）を開設しています。



診療内容

- ❖退院後の赤ちゃんの体重増加や授乳の様子(授乳姿勢、授乳間隔、ミルク追加の有無など)を確認し、個々に応じた指導を行っています。
- ❖乳房が張って痛みや熱が出たり、乳首に傷や亀裂ができて赤ちゃんに吸わせると痛みがあったりと、授乳中はさまざまなトラブルがおきることがあります。そこで母乳外来では助産師によるケアを行い、その後のセルフケアについて指導しています。
- ❖搾乳が必要な方(赤ちゃんが入院中、あるいはお母さんが疾患の為に薬を内服しているなど)にも、必要に応じて搾乳指導をおこなっています。
- ❖卒乳に関する疑問にも対応し、無理なく母乳育児を卒業できるようにお手伝いしています。



受診方法

- <日時> 毎週 月・火・水・金曜日(祝日を除く) 9:30~12:00、13:00~16:30
(1 枠 30 分、完全予約制、遅刻・キャンセルの場合は必ずご連絡ください。
遅刻の場合は短時間診療、または予約の取り直しをお願いしております。)
- <場所> 外来棟 1 階 母乳外来ブース (151)
- <対象者> 当院で出産された方
- <受診料> 3,240 円 (2018 年/9 月現在)
- <持ち物> 診察券、母子健康手帳、ママノート (母乳外来問診表)
外来には哺乳ビンや乳首、粉ミルク、おむつ等の準備はございません。
必要に応じてタオル、ガーゼハンカチ、哺乳ビンや乳首、粉ミルク、お湯おむつ、着替えの準備をお願いします。
- <予約方法>
 - ❖退院時に予約ができます。助産師と受診する日時をご相談ください。
 - ❖退院後に予約する場合には、予約センターへのお電話が必要です。
- <当日の流れ> 自動再来機で受付し母乳外来ブース (151) 近くの外待合で、お呼び出しがあるまでお待ちください。



これまでに母乳外来を受診していただいたママたちからは、
「入院中だけでなく、お産後も相談できる場所があって心強い。」
「急なトラブルでもみてもらえて良かった。」などと、
多くのご好評をいただいています。
今後もママたちの強い味方になっていきたいと考えています。

2018年9月

